

クリスマス会がありました

どうもあいりがとう

23日にクリスマス会がありました。待引に待ったクリスマス。12月に入つてから 子どもたちの詫題はサンタさんやプレゼントの話でもちきりでした。そして、一年に一度のおしゃれをしての登園の日。女の子はスカートをはいてくる子も多くて ちよびり恥ずかしそうにしている姿がわいらしかったですよ。保育士の「ソンドベレ」演奏ではじまり、いろいろ組さんがキャラドールを運んでくれローソクのきれいな炎の番めさきに じーと見入つていた子どもたちでした。色どりのキャラドールをちょびり緊張しながら運ぶ、りいちゃんさん。年長さんならではの役目なのです。大きなケーキのまわりに ゆらめく 19 本のローソクの灯がひとつでもきれいで 子どもたちも見れていたところに サンタさんの音が聞こえてきました。「サンタさん~!」と子どもたちの熱い声で驚きました。最後は保育士によるサンタさんの代わりに保育士が子どもたちのせりに受け取らいました。それがほほえました。それからみんなの「おむすびごりん」の劇を見て楽しめました。今年は保育士が子どもたちの樂器演奏、ぞくみの「おおきなかば」 らいあんぐみの「おむすびごりん」の劇を見て楽しめましたよ。今年は保育士が子どもたちの樂器演奏、「桃太郎」の劇。桃太郎の田辺保育士と鬼の大戦の園長先生の戦いで「がんばれー!」と大声援を送る子どもたちでした。



感覚症に負けないぞ!!☆



今年は手洗いうがいをご家庭や園でも徹底しているせいか 感染症があまり流行らずに今まで来ることができます。ですがこれからインフルエンザや溶連菌が毎年流行る時期です。日々の生活を充実させて 風邪に負けない体づくりをしていきましょうね。

特に朝は寒いので 朝食には温かいみそ汁やスープなどを飲んで身体を温めたいですね。ひとの体温は寝ている間に下がるので、朝は一番体温が低い状態になります。空腹で血糖値も下がっているので、体にスムーズにエンジンをかけるには、冷えた体を食べ物でおなかから温めることはどうとも大切です。体温が高い人は免疫力も高いといわれます。その理由のひとつにあげられているのが、体温が低いと血流が悪くなり、人体最大の免疫器官・腸がうまく動かなくなってしまうということです。低体温を緩和するために、温かいものを継続的に摂取するようにしましょう。身体を温め、体温を上げることが免疫力を高めることになり、風邪やインフルエンザなどの感染症予防につながります。

子どもたちは日中 外遊びに出かけ 11 時半ごろまで遊んできます。お腹がすいていたり、身体が冷えているとたっぷり遊べません。生活リズムを整えしっかり朝ごはんが食べられる身体づくりをしていきましょうね。

冬の手袋もかわいくない?



11月から徐々に冬支度をお願いしてきましたが 雪が降りこどもたちの雪遊びも本格的になりました。用意していただいた手袋、靴下は大活躍しています。お忙しい中、用意していただいた手袋靴下は、純毛毛糸で編んでいただいているので少し大きめに作つてもらっていますが 日々使いこなすうちにちょうど良い大きさになっていました。(暖かい空気の層が手袋の中にできて 手袋の外側に雪がたくさんついても 中はボカボカが温かいままなのです)

そして毛糸で柔らかいため、子どもたちの小さな手足になじみ、濡れても干すだけで乾きが早いです。(アクリル製の毛糸ものは 保温性が悪く、温かさあまり 感じられないから 湿つてくると指先が冷たくなってしまいます) 市販品の手袋(合成皮革など)は 濡れないときは良いのですが いつたん今までぬれてしまふと 冷たさが伝わらないと、臭いもきつく不衛生になります。続けて使つとすぐにしみてくるのですが ッナギのように防水スプレーをかける訳には (なめたりする恐れがありいかないので 小さい子には向きません。また肌同士がふれあう部分が多いほうが暖かいようで 五本指よりはミトンの手袋が暖かいのです。おかげで子どもたちは毎日の雪遊びをたっぷり楽しむことができています。どうもありがとうございます。

新しく保育土が入りました

1月より高橋保育士が新たにポジション入りをしました。

高橋 瑞穂
たかはし みづほ さんです。
どうぞよろしくお願ひします



今年もクリスマスにあわせて 0歳さんは手作りの人形、1歳さんはこれから使う衣類箱、ホールの大きい子たちには米作りを作つていただきありがとうございました。クリスマス会のあと、お星明け、おやつ後に包みを開きました。中には手作りの”抱き人形”や”衣類箱”、“米そり”が子どもたちは大喜びでした。自分のためにお父さんやお母さんが作つてくれたという喜びは何よりものプレゼントだったかと思ひます。何かとお忙しい時期で大変だったかとは思ひますが ご協力ありがとうございました。



小学校入学準備 「文字と数の学習。本当に必要なこと」は?

年長さんにとって入学前の学習準備で気になるのが、「ひらがなは ある程度マスターしておいたほうがよい?」「数はどこまで理解していればよい?」という問題。本当に必要な学習準備について、幼児教育と小学校教育の連携について研究されている先生のお話をご紹介しますね。

机に向かつて・・ではなく体験をとおして学ぶ時期

幼児期は直接的な体験をとおして学ぶ時期。机に向かつての学習は なじみにくいまのです。机が届いて数日は嬉しくて「勉強する」と張り切つているけれど続かないときあります。それなのに、ドリルなどの教材をノルマにしてしまうと、「字を書くのがきらい」「勉強がきらい」といった逆効果になることも。本人がやりたがるのなら良いですが、無理強いは禁物です。小学校でひらがなの学習が始まると、さまざま単語を読み書きする練習もします。その際、その単語が何を指すのかわからないと、字が意欲もそがれてしまうでしょう。どの年齢においても早ければ早いわけではなく、「年齢相応の育ち」をさせるということはとても大事な事です。幼児期は豊かな生活体験をとおして、さまざまな言葉や感覚と直接に出会うことの大切にしましようね。

<幼児期は文字や数に興味関心を持つことが大切>
就学前に毎日、読み書きの練習をする必要はありませんが、文字や数に興味関心を持つことはとても大切です。日常生活や遊びをとおして文字や数に興味関心が持てるよう、親が働きかけましょう。

学習につながる遊び体験の例
カルタ……文字に対する興味関心が持てる
積み木……「三角を合わせると四角になる」など形に対する興味関心が持つ
すごろく……数に対する感覚が育つ

鉛筆が正しく持てるのは、はしが正しく持てから絵を描くときも、「鉛筆を正しく持たせようとあせらないで。たくさん描いているうちに自然と合規的な持ち方すなわち正しい持ち方になるのです。いつも身近に鉛筆と紙がある環境づくりをして、描く機会を増やしてあげましょう。また、鉛筆が正しく持てるようになるためにには、順序だつた発達過程を経ることが大前提です。鉛筆の持ち方にこだわる前に、はしがきちんと持てているかを見てみましょう。はしが正しく持てるようになります。鉛筆の正しい持ち方にたどりつくには……
スプーンを握り持ち → スプーンを正しく持つ → はし・鉛筆を正しく持つ



日々の生活の中で小さい頃から ご家庭でも気にしていくとよいですね。

くおねがい>

・年末に持ち帰った荷物などを持つてください。
・今時期、通勤に時間かかるかと思いますが お迎えの時間がいつもより遅くなる場合は ご連絡ください。
(18:00 を過ぎますと延長保育となります)

突然の発熱やケガ等で職場にご連絡することもありますので職場を不在にすることがあります。登園時にその旨と連絡先(出先など)を保育士に口頭で必ずお伝えください。(必ず連絡がつく場所をお伝えください)
・コロナ感染の予防上、体温が 37.5 度以上ある場合はお休みをお願いしています。
またご家族の方が発熱し PCR 検査を受けている場合は検査結果が出るまでお休みしていただくことになりますのでご了承ください。

